

令和7年度予算 説明資料

◎ 歳入の部

負担金 297,540,000 円

協議会の運営及びコミュニティバスの運行その他管理等に要する経費等に対する、富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村からの負担金です。

	費用負担額
富田林市	140,915,000 円
太子町	37,112,000 円
河南町	98,488,000 円
千早赤阪村	21,025,000 円
計	297,540,000 円

◎ 歳出の部

1. 運営費 4,587,000 円

① 会議費

協議会の委員報酬及び費用弁償

予算額：752,000 円

費用負担：会議費の合計額を4市町村で均等に負担

② 事務費

消耗品費、備品購入費、職員旅費その他協議会事務の執行にかかる費用

予算額：748,000 円

費用負担：会議費の合計額を4市町村で均等に負担

③ 人件費

会計年度任用職員（非常勤職員）1名の人件費

予算額：3,087,000 円

費用負担：路線ごとの営業距離（路線延長×便数）で按分

2. 事業費 292,953,000 円

① 運行経費

9路線（喜志循環線、阪南線、さくら坂循環線、千早線、東條線、北大伴線、石川線、河内線、白木線）の運行に要する経費から運賃を減じて得た費用

※ 運賃収入は、令和5年度の収入を年間に割り戻して算出。

予算額：242,001,000 円

費用負担：路線ごとの営業距離（路線延長×便数）で按分

② 定期券販売に係る経費

スマホ定期券システム利用、紙定期券販売業務委託、消耗品等に要する費用 ほか

予算額：5,680,000 円

費用負担：区間ごとの営業距離で按分

③ 停留所施設に係る経費

富田林駅及び喜志駅停留所におけるデジタルサイネージ及びベンチの設置

その他停留所維持管理等に要する費用 ほか

予算額：20,048,000 円

費用負担：（停留所の維持管理費）当該市町村が設置に要した額

（デジタルサイネージ等の設置費）各駅の路線ごとの営業距離で按分

④ 調査に係る経費

OD 調査（利用者乗降調査）に要する費用

予算額：15,519,000 円

費用負担：路線ごとの営業距離（路線延長×便数）で按分

⑤ 休憩所施設等に係る経費

富田林駅及び喜志駅に設置する乗務員の休憩所に関する費用 ほか

予算額：2,577,000 円

費用負担：該当路線の営業距離で按分した額

⑥ 利用促進等に係る経費

専用ウェブサイトの導入、時刻表等の印刷その他利用促進等に要する費用 ほか

予算額：7,128,000 円

費用負担：当該市町村が負担した額

以上